

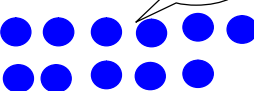
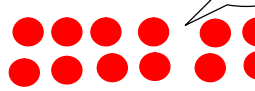
課題解決アイデアシート

5	提案者 中村・山本・原田
---	-----------------

地域の課題

- 地域ごとの温度差がある
- 若い人が参加しない(後継者がいない)
- 人材育成が難しい(熟年・老年パワー活用)
- 人材発掘も併せて行う

- 住民の中にも素晴らしい人材、知恵者あり
- 地域にたくさんの人材いるのに活用されてないよ～

テーマ	人材育成	
アイデアカード	目的 (解決できる課題)	・コミュニティの確立(自治会組織活性化) ・参加・参画・協働の推進 ・市民意識の向上
	アイデア名称 (事業名)	人材育成事業
	内 容	・地域リーダー養成講座 ・年代別講座 ・女性のリーダー養成
課題の原因	・高齢化社会での担い手が不足し、地域活動ができなくなっている ・地域でのまちづくりや政策への参画が進まない ・コミュニティの確立ができていない ・自治会組織活動が低調	
主体の役割	住民	主体的・意欲的に応募、受講
	行政	・資金面の支援 ・場の提供 ・講師への対応 ・相談者(市民)受け入れ情報の発信
	市民団体	養成講座のプログラムづくり、実施
	自治会	参加者の対応
	NPO	・場の提供 ・まちづくりや地域活動の課題提供
評 価	<実現可能性> 青色 	<実行の必要性> 赤色 

これが全ての土台!!

難しく、順調にいていない

価値観の多様化

地域で輪を広げる
→ 全市へ

主体

山口大好き!! 80%
山口に住みたい!! 38%

<発表5班>(第4回会議録より抜粋)



議論の中でいろいろテーマがでたが、結局一番難しいテーマである「人材育成」になった。みなさんも人材育成の必要性を承知していると思うが、これがすべてのことの土台になると考える。目的としては自治会組織活性化も含めたコミュニティの確立をしっかりやって行くこと。人材育成のためのいろいろな行事に参加、参画してもらい、それが協働の推進につながっていくと思う。そしてまちづくりや人材育成に対する市民意識の向上。人材育成は難しい。

今でも順調にいていない、そういう面もあると思う。

地域リーダー養成講座等を行政に取り持って欲しい。養成講座を年代別に行うことを考えて欲しい。そして女性リーダー養成。

現在は多様な価値観が存在し、意見をまとめるのも大変である。行政には酷な言い方かもしれないが、行政で公益的なサービスを担うことは限界にきていると見受けられる。様々な課題を主体的に捉え生活を豊かにしようとする市民の活動が増えてきている。その基になるのが人材育成であり、これを疎かにするとよいまちづくりはできないと思う。

県議会が若い人を対象に行ったアンケートによると、「山口が大好きという人」は80%いるが、「住みたいと思う人」は38%しかいなかった。何か問題があるはずなのでこのあたりは考えなければならない。まず隣近所の小さなコミュニティを確立する。それを全市に広げていく。順序だてて、取り組みやすいのは小さなコミュニティだと思う。そのために人材育成をやっていく。

他の班の発表でもあったが自治会組織の活動が低調なのではないか。やる気のある自治会とない自治会の地域の温度差、リーダーの温度差があると思う。公平にできるように近づけることが重要である。

課題を解決するための各主体の役割はコチラ

感想と補足



<感想> 地域で温度差があるという話があったが、人材育成が一番の問題だと思っている。私は団体の副会長をやっているが、人材不足で困っている。温度差というのはやはり若い人が参加できない、後継者がいないという問題がある。意識の問題もあるが、働いていて時間が取れない。私たちの地域は50%以上が65歳以上の方で、そういう地域で人材育成といっても困難である。熟年パワー、さらに老年パワーの活用が必要になっていくと思う。

<補足> これからは人材育成と同時に人材発掘をやっていかないといけない。

<補足> 発表の中で行政の役割で、講師への対応というのがあったが、行政に講師を頼んでも出てくるのはとかく学識経験者ということになる。そうではなく一般の方で何かに長けている方、素晴らしいものを持っている方がおられるので、住民が講師を見つけてくる。その方を講師に迎えて、講義をしてもらうのがよいと思う。今は実務を十分に把握した人が必要、そういうことが言いたい。